

枝野まちづくり計画書

【活動期間 令和8年～令和17年】

笑顔あふれる ほっこり枝野



角田市ホームページ

枝野地区振興協議会

【令和8年5月策定】

— 目 次 —

1. 枝野地区の概要	1
2. 現地区計画の見直し	2
3. これまでの活動成果と評価	3
4. 枝野地区の現状と課題	5
5. 枝野地区の目標	10
6. 課題解決に向けた取り組み	11
7. 枝野まちづくり策定委員名簿	13
8. 枝野まちづくり策定委員会開催状況	14
9. 枝野まちづくり推進体制	15



1. 枝野地区の概要

枝野地区は角田市の南東に位置する、のどかな田園の広がる地区です。近年、小学校の閉校や中学校の統合に加え個人商店も減少し、賑わいの場がなくなりつつあります。

しかし、地区の特色を生かした農産物の収穫体験や、農業体験交流など「農」を生かした活動が、担い手を中心に展開されています。

令和7年1月1日現在の世帯数は630世帯、1,450人が暮らしています。高齢化率（人口に対する65歳以上の高齢者の割合）は43.7%となっています。



〔農業体験交流・田植え〕



〔とうもろこしもぎとり体験〕



〔さつまいも販売会〕

2. 現地区計画の見直し

現在の地区計画は、平成21年に策定し16年が過ぎその間、地域を取り巻く社会情勢は大きく変化し、現在の地区計画では対応できないところも多くなり、これからの10年に向けた新たな地区計画が必要となりました。

地区計画の見直しにあたり、協力していただけるメンバーを公募し、集まった14名の地区計画策定委員で話し合いを進めてきました。

令和6年2月に小学生以上の地区民を対象に実施した「枝野まちづくりアンケート」からみえてきた、地域の問題・課題の洗い出しやその解決策などを話し合ってきました。



〔第4回策定委員会〕



〔第5回策定委員会〕



〔第8回策定委員会〕



〔第10回策定委員会〕

3. これまでの活動成果と評価

振興協議会発足当初は5部会でスタートしましたが、その後見直しをして現在は4部会での活動となっており「地域安全」「農産業振興」「厚生環境」「教育文化」それぞれの特徴を生かした活動を展開してまいりました。

また、自治センター事業とも連携し地区民相互の親睦と、地区の活性化をはかってまいりましたが、当初の目標に至っていないものも多くあります。

- 令和6年3月に振興協議会役員で現地区計画（平成21年策定）についての検証を実施し評価しました。

■教育文化

達成：○ 未達成：△

地域の課題	将来に向けた目標	改善方法・活動	評価
枝野の売りがない	枝野の魅力を再発見	○地域資源の掘り起こし	○
		○見どころマップの作成	○
		○PR活動	○
学童保育	みんなで子育てに関わろう	○設置に向けた要望	○
		○学童保育のPR	○
		○学童保育の充実	○
地域の匠の技	先人の知恵を現代に	○技の講習会の開催	△
		○PR活動	○
小学校	小学校を地域コミュニティの場に	○キャンプ	△
		○グランドゴルフ大会	△
		○地区民いも煮大会	△

■健康福祉

地域の課題	将来に向けた目標	改善方法・活動	評価
高齢者（世帯）の増加	高齢者の知恵を活かし、地域の和を広げよう	○運動不足をなくし健康に	△
		○健康講習会の実施	△
		○趣味や特技を活かす場づくり	△
		○地区民や子どもとの交流	△
地区民球技大会 地区民運動会	スポーツを通じて地域コミュニティの活性化	○参加呼びかけの強化	△
		○種目の検討	○
		○通年のスポーツ交流	○

■生活環境

地域の課題	将来に向けた目標	改善方法・活動	評価
生活環境の問題	気持ち良く暮せる地域づくり	○草刈り作業	○
		○ごみ拾い分別の徹底	△
		○川もきれいにする	△
		○花を植える	△

■農産業振興

達成:○ 未達成:△

地域の課題	将来に向けた目標	改善方法・活動	評価
担い手、後継者問題	みんな楽しく農業ライフ	○新規就農の受け入れ	△
		○小学校との連携	△
イノシシ被害	安心して農地を耕作したい	○野菜屑や家庭生ごみを捨てない	○
		○有害鳥獣駆除の徹底	△

■地域安全

地域の課題	将来に向けた目標	改善方法・活動	評価
道路の問題	事故が無く、安心できる枝野路	○危険箇所の調査	○
		○看板の設置・改善	○
		○各種団体との情報共有	△
		○県・市への道路改良要望	△
子どもの安全	事件・事故から子どもを守ろう	○青パト巡回活動	○
		○安全マップの作成	○
		○見守り活動	△
		○防犯灯の設置	○
		○県・市への改善要望	△
災害への不安	地域一丸となって、災害から住民を守ろう	○見守り・声かけ活動	△
		○自主防災組織の整備	△
		○災害時マニュアルの作成	△
		○火災報知機設置の推進	○
		○消火栓マップの作成	○



〔地域安全部会 枝野防災教室〕



〔農産業振興部会 枝野農業まつり〕



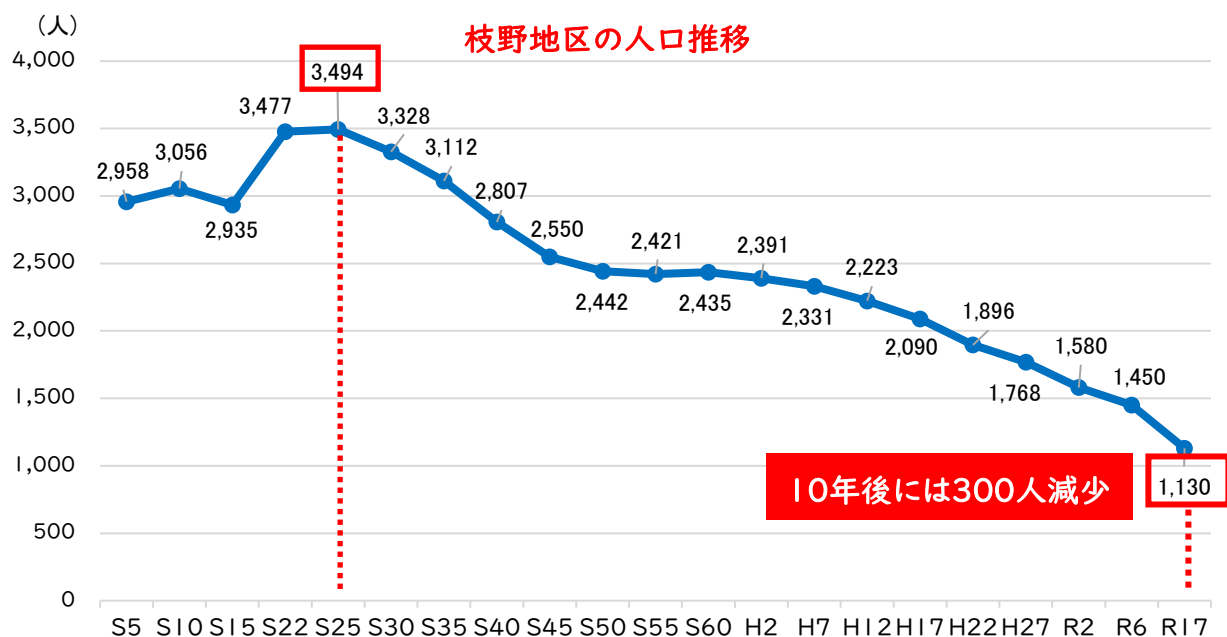
〔厚生環境部会 枝野ゴミ拾い大作戦〕



〔教育文化部会 目黒家廟所清掃〕

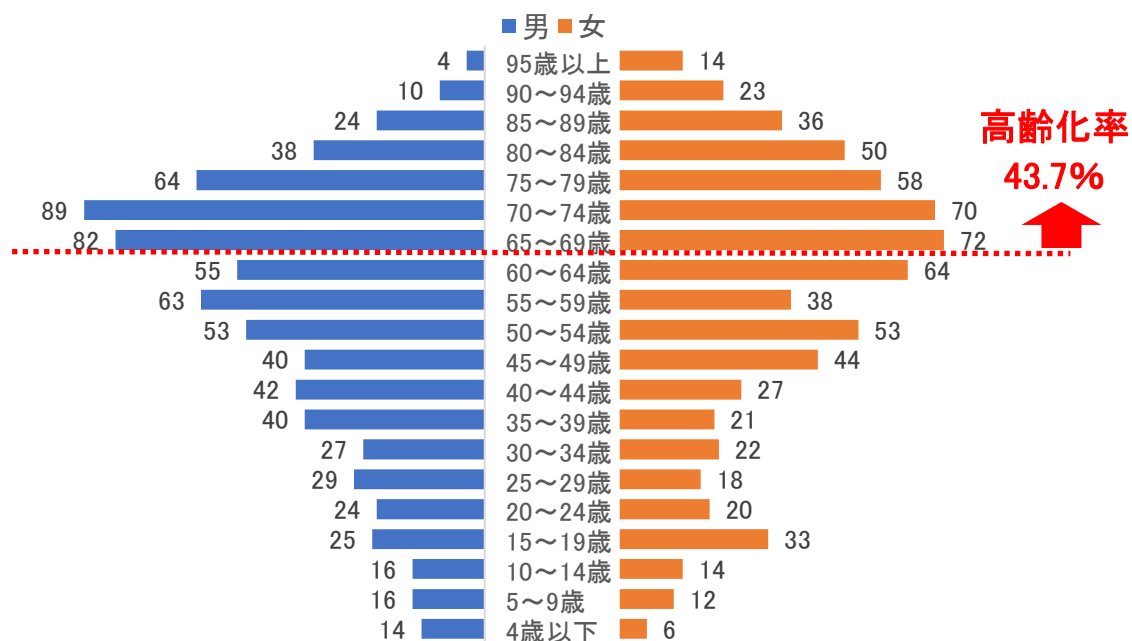
4. 枝野地区の現状と課題

(1) 人口減少に対する課題



昭和25年の3,494人をピークにその後は、昭和50年～60年は平行に推移していたが、平成2年からは人口減少に歯止めがかからず平成21年には2,000人を割り込みました。

枝野地区の人口ピラミッド(令和7年1月1日現在)



人口減少による課題点

1. 小学校が閉校し学校を媒体とした、地区民同士のコミュニケーションが希薄

■ 30代、40代の交流不足と小学校の利活用

2. 若年人口の減少に伴う地域活動の危機

■ 次のリーダーが育たない



3. 独居老人の増加

■ 生活支援が必要、孤独死の増加

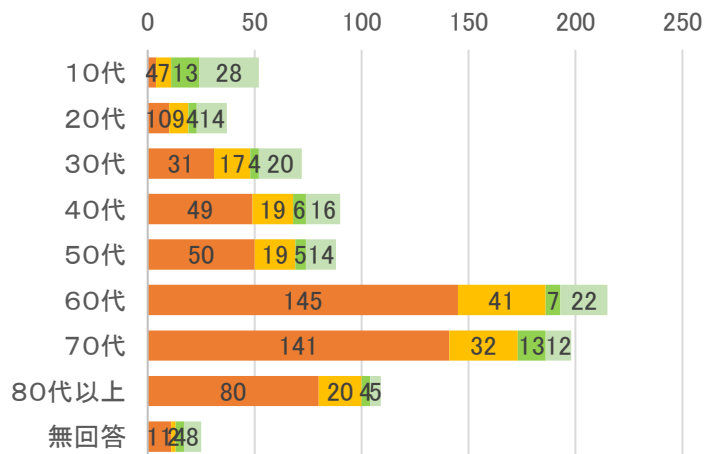
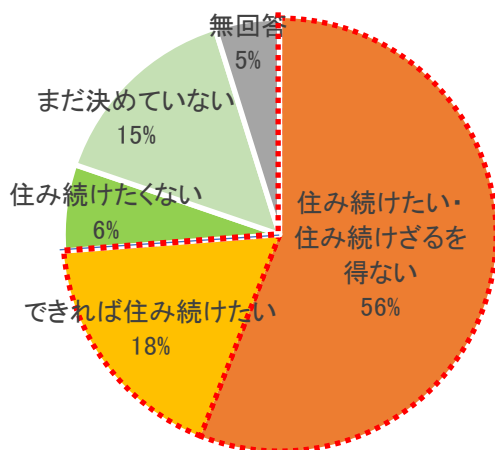


4. 空き家の増加と周りの環境悪化

■ 管理する人が地元にはいない

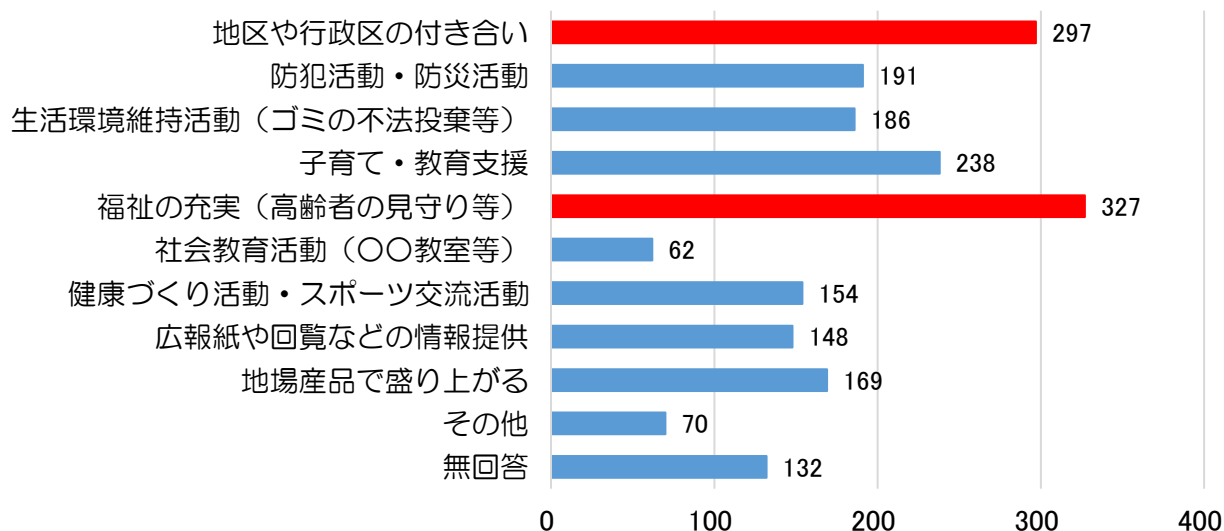
(2) 現状把握 アンケート結果で得られた枝野地区の現状

■ あなたは、これからも枝野に住み続けたいと思いますか。



10代～30代155人の中で「住み続けたくない」との回答は21人13.5%です。しかし「まだ決めていない」が40%となっています。この40%の若者が枝野に住み続けたくなるような地区にしていくことが大切です。

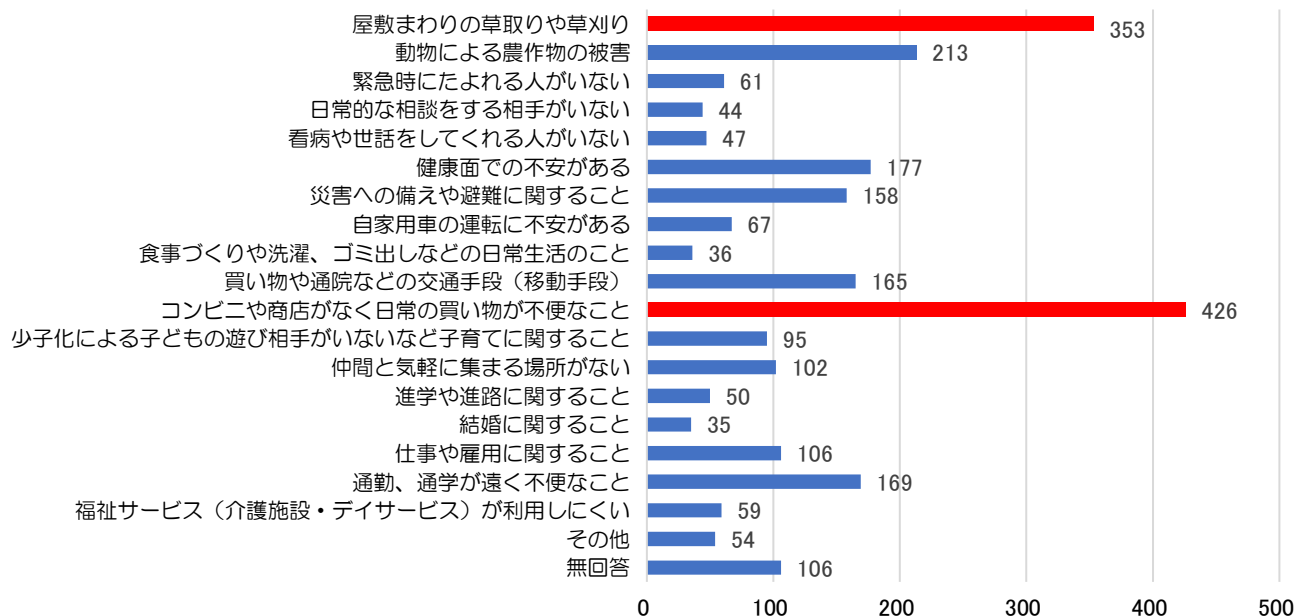
■枝野地区に住んでよかった、この地区に住み続けたいと思えるような地域づくりを進めていくためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。



「福祉の充実」との回答が1番ですが、地区だけでは対応が難しく行政主導になってしまう。

また、ご近所、行政区さらには地域との付き合いを大切に思っている回答が多く、気軽に参加できる地域活動が必要とされる。

■枝野での日常生活で困っていることや不安に感じていることはありますか



各年代で選択肢にばらつきがあるものの、高齢世代の選択肢が上位を占めています。

行政、行政区、個人と家族を含めた幅広い対応が求められます。

(3) アンケート結果と策定委員会でまとめた問題点

枝野地区アンケート 結果と 枝野地区計画策定委員会の意見交換会で出た意見を
基に令和6年8月28日の策定委員会で作成

地区振興協議会 自分たちでできること	地区振と行政 地区振と角田市が一緒にやること	行政 角田市にお願いすること
◎転入者を歓迎するムードがない ・ 外(枝野以外の所)から 枝野にきた人を歓迎するムードがない ・ 声掛けが足りない ・ ローカルルール ◎施設の使い方、利用がわからない ・ センターに用事がないと来ない ・ 学校の使い方、学校の利用がわからない ◎地区の役職や行事の動員が多く、同じ人が集まる ・ 地区の役が多い → 一人一役運動 ・ 行事の動員が多い ・ イベント 会社に委託 ・ 行事のチーム力 ・ いつも同じ人が集まる ・ 地区の保全活動員高齢化 ◎つながりがいい人間関係 ・ 頭が固い、昔のまま変わらない ・ 周りの目を気にしすぎ ・ 二人暮らしが多い ・ 地元に興味がない人も、ある人も一緒に何かできないか ・ 横のつながりが無くなった人間関係	◎空き家対応無し ・ 空き家が多い ・ 空き家が増える 対応無し ◎高齢者が集まる場所がなくひきこもる ・ 1人暮らしの高齢者(ひきこもり) ・ 高齢者の集まる場がない ・ 老人の集まりがない ◎交流の場(機会)がない ・ 交流の場所がない ・ 他地区との交流がない ・ 独身者 結婚できない ・ 若者の参加のチャンスがない ・ ワークショップなどのイベントがない ・ 子ども達との交流の場がない ・ どこにどんな子どもがいるかわからない ・ 女性は集まるけど男性はなかなか ・ 行事が少ない ・ 世代間交流が少ない ・ 年代の違う人と交流する場がない ・ 近所との距離(仲の良さ) ・ 隣の家と距離がある ・ 枝野でどんな行事があるのか知らない、おたより見ない	◎交通手段がない ・ 移動手段がない ・ 交通の手段あまりない ・ 公共交通がない(バスなど) ◎外灯が少なく道が暗い ・ 道が暗い ・ 道がわからない ・ 外灯が少ない(暗い) ・ 外灯がない ・ 外灯が少ない ・ 枝野の夜は暗いので明るくする ◎働く場所がなく、起業する ・ 職場が少ない ・ 小規模農家の収入増 ・ 働く場所がない ・ 農地集約 ・ 自分達で起業する ◎若者が流出している ・ 若者の流出 ・ 若者が外に出る ・ 若者が少ない ・ 農業の跡継ぎ ◎遊ぶ(集まる)場所がない ・ 公園がない ・ 学校がない ・ 学校の土地がもったいない ・ 枝野小の遊具を使ってダメなのか ・ 楽しむところがない ・ 娯楽施設がない ・ フラッと寄れる所がない ・ たまり場がない ・ 子どもが遊びに出ていく 機会が少ない ・ 自由に集まるところがない ◎商業施設等がない ・ 産婦人科近く ない、小児科がない ・ コンビニが遠い ・ 居酒屋がない ・ 出前が来ない ・ コンビニ等店が少ない ・ 買い物する場所がない ・ 喫茶店がない ・ 子どもがお使いに行けない

問題点に優先順位をつけて
優先度の高い項目から取り組む

◎交流の場(機会)がない

◎地区の役割や行事の動員が多く、
同じ人が集まる

◎施設の使い方、利用がわからない

個人でやること ◎土地(宅地)がない ◎山の管理が悪く汚い

(4) 最重要課題の解決策

◎交流の場（機会）がない

■みんなが気軽に集まれる場所をつくる

地域の中で、世代をこえて交流できる機会が少ないという声があります。そこで、だれでも参加しやすく、楽しく集まれる「交流のきっかけ」を増やしていきます。地域のつながりが広がることで、安心して暮らせる関係づくりが進みます。

◎地区の役割や行事の動員が多く、同じ人が集まる

■やる人が偏らないように、役割を見直す

行政区や地区振興協議会の行事や活動では、同じ人に負担がかかりやすくなっています。

無理なく続けられる地域にするため、活動内容により部会や役割を整理します。

みんながムリなく参画できるよう、運営体制のスリム化をします。

◎施設の使い方、利用がわからない

■地域の施設をもっと使いやすくする

旧枝野小学校等の使い方が分かりにくい、申し込みが大変という声があります。

地域の施設がもっと身近になり、日常的に利活用しやすくなるように、角田市と協議をして進めていきます。

旧枝野小学校等が使いやすくなることで、防災や交流の場としての活用も広がります。



この3つの提案は、だれもが参加しやすく、無理なく続けられ、安心して暮らせる地域をめざすための考え方です。

地区民のつながりが深まれば、困ったときにも助け合える、あたたかい地域になります。

みんなで協力し、より気持ちよく暮らせる地域を一緒につくっていきましょう。

5. 枝野地区の目標

枝野地区に住んでよかった、これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりをめざし、地区振興協議会が主体となり問題解決に向け、今住んでいる場所で「**笑顔があふれて、ほっこりするような地区**」の実現に向け取り組みます。また、自治センター事業と協力して進めてまいります。



1. 【健康福祉】

- 安心して暮らせる地区づくり

◎子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる枝野をめざします

2. 【生活環境】

- 暮らしやすい生活環境づくり

◎さまざまな環境を整備し暮らしやすい枝野をめざします

3. 【コミュニティ】

- 世代を超えたつながりづくり

◎世代を超えて地区民が気軽に交流できる枝野をめざします

4. 【教育文化】

- 豊かな心づくり

◎楽しい学びを通して心豊かな枝野をめざします

6. 課題解決に向けた取り組み



【健康福祉】

前期:1~3年 中期:3~5年 後期:5~10年

■ 安心して暮らせる地区づくり		実施開始時期		
目 標	地区民が健康で過ごせるよう健康づくり活動、高齢化対策、子育て支援をめざします。	前期	中期	後期
活動内容	多世代が集えるスポーツ交流の場を設け、運動不足無くし健康づくりを推進します。	●		
	高齢者世帯の見守りや声掛け、ゴミ出し買い物等生活支援を検討します。		●	
	子育て世代の交流の場を検討します。		●	



【生活環境】

前期:1~3年 中期:3~5年 後期:5~10年

■ 暮らしやすい生活環境づくり		実施開始時期		
目 標	水害に弱い地区であるため防災意識の向上、さらにゴミの不法投棄によるゴミ問題の解決に努めます。	前期	中期	後期
活動内容	防災講話の開催や、防災活動を通し地区民の防災意識の向上に努めます。	●		
	ゴミの不法投棄の無い、不法投棄されない地区をめざします。	●		





【コミュニティ】

前期：1～3年 中期：3～5年 後期：5～10年

■ 世代を超えたつながりづくり		実施開始時期		
目 標	交流事業に対する参加者を増やし、世代を超えたつながりを作ります。また、地域づくりは人づくりの観点から次世代の担い手育成や組織のスリム化をめざします。	前期	中期	後期
活動内容	世代や地域を超えた新たな交流事業を検討します。	●		
	各種イベントの参加者が増えるよう、内容の充実を図ります。	●		
	各イベントに若者の参画を促し、人材発掘と育成をめざすとともに、組織の見直しを図ります。		●	



【教育文化】

前期：1～3年 中期：3～5年 後期：5～10年

■ 豊かな心づくり		実施開始時期		
目 標	小学校の利活用を図り、子ども達を中心とした活動を展開します。また地域史跡等の維持に努めます。	前期	中期	後期
活動内容	子どもから大人まで小学校で遊べるような事業を検討します。 また、小学校等施設の使用申請をマニュアル化します。	●		
	後世に伝え残す、地域にある史跡等の清掃活動の継続をめざします。	●		



7. 枝野まちづくり策定委員等名簿

枝野まちづくり策定委員

No.	行政区	氏 名
1	枝野 2 区	黒須 大輝
2		門間 良子
3		門馬 希道
4	枝野 3 区	中野 義勝
5	枝野 4 区	小形 一矢
6		佐久間 秀人
7		○ 只野 実
8		戸村 和博
9		戸村 翔
10	枝野 5 区	遠藤 英明
11		笹木 友宏
12	枝野 6 区	◎ 八巻 隆次
13	枝野 7 区	南部 聡子
14	枝野 8 区	遠藤 亜由子

◎委員長 ○副委員長

地域支援班員（角田市職員）

No.	所 属	氏 名
1	まちづくり推進課	伊藤 圭
2	健康推進課	辻 琴江
3	総務課	宗片 由佳
4	上下水道事業所	渡邊 祐士
5	農業委員会事務局	齋藤 茜
6	総務課	星 真理子
7	防災安全課	只野 史也

自治センター職員

No.	職 名	氏 名
1	センター長	門馬 忠男
2	主 事	今野 直美
3		高野 和恵



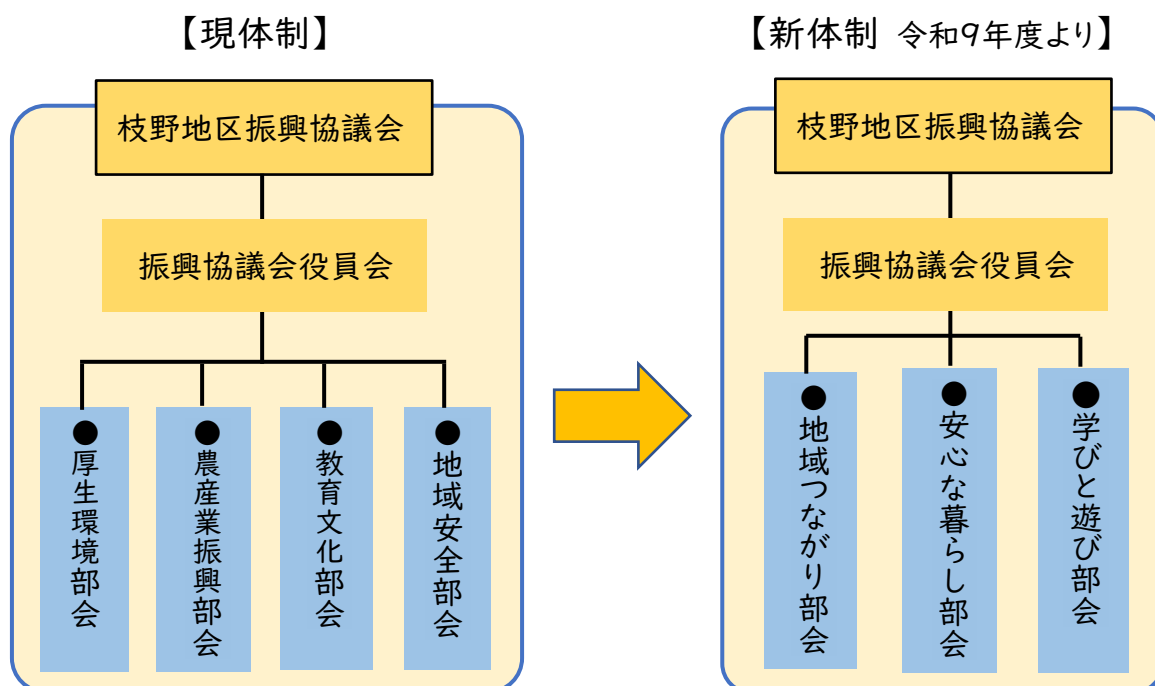
8. 枝野まちづくり策定委員会開催状況

No.	開催日	会議名	内容
1	R5.9.6	第1回策定委員会	策定委員顔合わせ
2	R5.12.1	第2回策定委員会	現地区計画の振返りとアンケートの内容確認
3	R6.1.25	第3回策定委員会	アンケート(案)、対象者、配布回収について
4	R6.3.13	第4回策定委員会	地区計画に向けた問題課題の洗い出し
5	R6.7.23	第5回策定委員会	アンケート結果から問題課題抽出
6	R6.8.28	第6回策定委員会	問題課題を絞り込み役割分担を考える
7	R6.10.25	第7回策定委員会	問題課題の優先順位と解決策を考える
8	R6.12.5	第8回策定委員会	アンケート集計結果の確認、解決策を考える
9	R7.1.28	第9回策定委員会	BBQ イベントの企画案と枝野地区のめざすイメージを考える
10	R7.2.25	第10回策定委員会	枝野地区の将来像(キャッチコピー)を考える、計画書の内容とBBQ実施体制を考える
11	R7.6.26	第11回策定委員会	地区計画書の素案づくり①
12	R7.7.28	第12回策定委員会	地区計画書の素案づくり② BBQ実施体制検討
13	R8.2.24	第13回策定委員会	地区計画書の最終確認・交流事業実施体制

※R7.11.27 東北まちラボ、まちづくり推進課、地区計画策定正副委員長、振興協議会会長で意見交換



9. 枝野まちづくり推進体制



無理なく参画できるよう運営体制をスリム化し進めてまいりますが、現在の部会員の任期が令和8年度までとなっておりますので、新体制への移行は令和9年度からとします。

●あいさつ

枝野地区振興協議会会長 佐藤 孝一

枝野地区に於いても、人口減少、少子高齢化、一人暮らしの高齢者、空き家の増加等多くの課題がある中、角田市協働のまちづくりの基本方針に基づき、枝野地区計画策定委員会を設置し、全戸のアンケート調査を実施し、地区の問題課題等について話し合いをしてまいりました。

今後、地区の協働を意識した行事等を通して多世代交流を行い、住み慣れた枝野地区で一人でも多く暮らし続けられるよう、皆さんと一緒に考えていきたいと思いますのでご協力よろしくお願い申し上げます。



枝野地区振興協議会（事務局：枝野自治センター）

〒981-1503 角田市島田字光畑57-1

TEL:0224-63-2141

FAX:0224-63-5358

E-mail:edano-cc@city.kakuda.lg.jp



〔枝野自治センターメール〕